

# IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト【群馬県】

個別事業費	15,979 千円
交付金額	10,800 千円

## 地域の実情と課題

- ・群馬県では女性の有業率が全国平均と比べて高い一方、女性の正規職員・従業員の割合は全国平均を下回り、非正規雇用で働く女性が多い(H29就業構造基本調査)
- ・女性の1時間平均賃金について、男性・全国平均を下回る(R3賃金構造基本統計調査)。

⇒雇用形態の正規雇用へのシフトや、賃金の高い高付加価値型の産業分野への労働移動が課題。

## 事業の特徴

- ・人材不足が見込まれるため就職につながりやすく、高賃金であるIT分野で、専門人材としての就職に必要な知識やスキルの習得を目指した講座を民間企業への委託により実施。
- ・基礎的なPCスキルを身につけた方向けとして、デジタルツールの使い方を習得する講座(デジ田交付金を活用)を実施した。
- ・講座だけでなく、デジタルツールを使った仕事体験イベントの開催や、IT企業との交流機会を開催。スキル習得から就労までを一体的に支援。

## 事業の効果

【成果】

受講者数:109人  
就労者数:41人(R7年3月末時点)

うち、女活交付金事業  
受講者数:60人  
就労者数:30人(R7年3月末時点)

## 目的・目標

- ・約80時間のオンライン講座により、「フロントエンドエンジニア」を育成。
- ・約4ヶ月間の受講で、テレワークのためのビジネス基礎、基幹業務システム「SAP」の業務知識を身につける。

【目標値】(デジ田交付金活用事業との合計)  
受講者数:100人(うち、就労者数50人)

## 連携団体

- ・ジョブカフェぐんま、他女性就労支援事業実施団体(太田市、ハローワークマザーズコーナー等)、社会福祉協議会、ぐんま男女共同参画センター、女性相談センター、女性団体、各子育て支援団体

## 今後の課題

- ・講座修了後から年度末までの期間が短かったため、3月時点ではまだ就職に至っていない受講者が多いと考えられる。今後、昨年度の受講者を対象に就労状況等の調査を実施予定。
- ・講座期間中に離脱する受講者や、講座は受講したものの就労予定がない受講者が見受けられた。令和7年度はこうした課題に対応し、就労までつながる割合の向上を図る。

# 事業の概要

## 「女性の就労問題」

- ・男性や全国平均に比べ、正規職員・従業員が少なく、賃金が高い傾向(出典:就業構造基本調査、賃金構造基本統計調査)
- ・育児等による働き方の制約

## 「IT人材の不足」

- ・デジタル人材の必要性を感じている県内企業は半数以上(57.7%)  
(出典:経営環境の変化による影響調査(R4.8群馬県産経部調査))



女性特有の就労問題とIT人材不足を解決するため、プログラミング講座や就労支援実施

### 企業ニーズ把握・求人発掘 (県・ジョブカフェ等)

- 企業ニーズの把握
- 企業訪問による求人案件・アウトソーシングの発掘
- 交流会実施による参加企業開拓・情報収集

### 受講者募集・事業周知

デジタルの仕事体験イベント

### 人材育成 (専門の人材育成事業者)

キャリアスタート講座(汎用性の高いITスキル取得)  
(デジ田交付金)

- WEBデザインやSEOスキルなどの講座  
・PC操作に不慣れな方でもITを活用できるスキルの取得を学ぶ講座を実施

キャリアアップ講座(専門的なITスキル取得)  
(女活交付金)

- 中級コース:プログラミング言語基礎講座  
・IT企業への入社時に求められるプログラミング言語基礎などを学習。
- 上級コース:基幹システム講座  
・企業等でIT専門人材として活躍できる基幹システム(SAP)関連知識を学習。

### 就労支援 (県・ジョブカフェ等)

働く場の創出

- 受講者と県内企業との交流会(マッチング)
- 収集した求人案件の紹介
- ジョブカフェ等と連携した就労支援

### 成果

受講者数109名

就労者数41名  
(令和7年3月末時点)

- 成果周知  
Web記事作成・拡散
- 事業の評価検証  
受講者や有識者などからの意見をもとに2年間の評価検証を行い、課題を洗い出し、今後の事業について検討する。